

## 第5回部会の開催結果

### ■第5回部会

令和4年2月10日、14日、18日にオンライン形式で3つの部会を開催し、各部会において各委員による今年度の取組状況および報告に関する情報共有、意見交換等を行った。

#### 1. 各部会の開催概要

##### <普及啓発・適正利用部会>

日時：令和4年2月10日(木) 10:00~12:00

出席者：19名(個人4名、団体・法人6(9名)、行政3(9名) ※重複3名)

##### <学術調査部会>

日時：令和4年2月14日(月) 13:00~15:00

出席者：29名(個人16名、団体・法人5(10名)、行政1(6名) ※重複3名)

##### <海域・陸域対策部会>

日時：令和4年2月18日(金) 10:00~12:00

出席者：15名(個人3名、団体・法人4(6名)、行政1(7名) ※重複1名)

#### 2. 今年度の取組状況および予定

事前に委員から提出された取組シートや当日の口頭説明等により、今年度の取組の実施状況および予定について共有を行った。

#### 3. 部会で意見交換された事項

##### <普及啓発・適正利用部会>

##### ○石西礁湖ポータルウェブサイトの改修案へのご意見について

- ・今年度中に修正を行い、公開する
- ・色々な人が興味を持つように親しみやすいデザインやレイアウトで見やすいサイトを作成する

- ・ヘッダーのイラストが何のイラストなのか分かりにくいため表現を検討する
- ・公開マップのポイントの現在・過去の写真やサンゴの回復状況が分かる資料を「活動状況」に掲載する
- ・これまでの体制年表の表現方法を検討する
- ・様々な媒体で閲覧、アクセスしやすくなるよう検討する
- ・ワーキンググループの位置付けについての表現方法を検討する
- ・著作権のルールについて記載方法を検討する
- ・配色や説明文の長さ、内容についてはこのまま進める

#### ○石西礁湖自然再生全体構想行動計画 2019-2023 概要版について

- ・概要版（日本語版、英語版、こども版）を作成し、主に石西礁湖ポータルウェブサイトにおいて公開する
- ・パンフレット「豊かなサンゴの海を守るために」を見ながら取り組めるワークシートのような形の概要版を作成する
- ・概要版の公開はオンラインで行う

#### ○「適正利用」について考えてみる

4～5名のグループに分かれて、「適正利用」について、議論を行い、何が適正なのか、必要なのか、考えを共有した。

- ・基準を設定し、何か問題があれば基準を元に協議していく必要がある
- ・エリアごとで様々な団体が様々な内容の活動をしているため「適正利用」についての考え方と把握は難しい
- ・利用規模の違い（大規模・小規模）や自然への影響を考慮して、利用者や地域から理解を得るような利用時のガイドラインを作成する
- ・漁業者へのサポートや質の高い観光を目指す必要がある
- ・環境収容力を基にした対策を検討する

## <学術調査部会>

### ○作業チームの進捗報告

蓄積型栄養塩調査の結果報告とモデル作成について情報共有した。

- ・作業チームで検討している今後の調査、モデル作成の方針は了解された
- ・古井戸の場所や調査機器の設置、陸域、海域での採水といったモデル開発のために必要となる情報や調査をまとめ、協議会にて協力を呼びかける

### ○石西礁湖の現況等を表すマップについて

#### ◎両マップ共通

- ・今後も引き続き意見を募集し、検討、改良を行う

#### ◎一般公開用：現況把握マップについて

- ・協議会で報告の後、公開する

#### ◎一般公開用：サンゴ礁健全度マップについて

- ・いつ頃公開を行うか目途を立てて検討する

## <海域・陸域対策部会>

### ○オニヒトデの確認状況について

- ・引き続きオニヒトデの発生状況の現状を把握する
- ・保全すべき海域と重点駆除海域の抽出を行う

### ○取組分野2「守る」について考えてみる

4～5名のグループに分かれて、取組分野2「守る」について、海域陸域対策部会が今後どのような取り組みをしていくべきなのか、議論を行った。

- ・様々な業種の人たちと連携しながら基準を作り、対策に繋げる
- ・モニタリング調査を行い現状の把握をする
- ・調査の結果から指標や目標を作成する
- ・個人的な取り組みを行い、フレンドシップへの登録などでその取り組みを普及させる